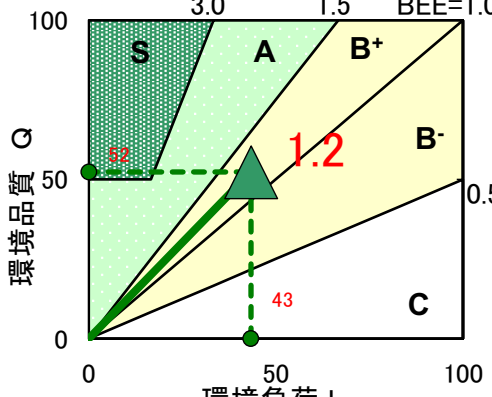
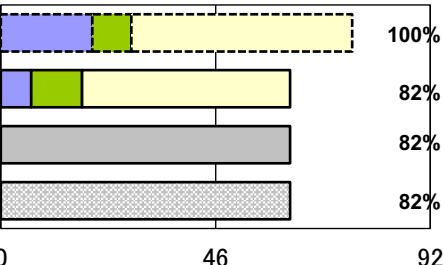
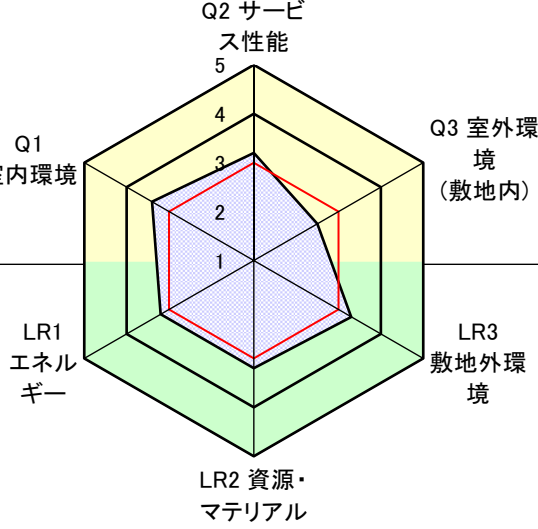


CASBEE®名古屋

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2016 | 使用評価ソフト：CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

評価結果

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	(仮称)植田3丁目計画	階数	地上14F	 ください
建設地	名古屋市天白区植田三丁目805番	構造	RC造	
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	130 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2023年9月 予定	評価の実施日	2021年9月27日	
敷地面積	931 m ²	作成者		
建築面積	286 m ²	確認日	2021年9月27日	
延床面積	3,357 m ²	確認者		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
= BEE 1.2 ★:S:★★★★★ A:★★★★★ B+:★★★★ B-:★★★ C 	★☆☆ 100%超:☆☆☆ 100%:☆☆☆☆ 80%:☆☆☆☆☆ 60%:30% 標準計算  ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ (kg-CO₂/年・m²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	 Q2 サービス性能 Q3 室外環境(敷地内) LR3 敷地外環境 LR2 資源・マテリアル LR1 エネルギー Q1 室内環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア= 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.4

項目	スコア
音環境	3.1
温熱環境	3.5
光・視環境	3.1
空気質環境	3.6
平均スコア	3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

項目	スコア
機能性	3.2
耐用性	3.0
対応性	3.3
平均スコア	3.2

Q3 室外環境（敷地内）

Q3のスコア= 2.5

項目	スコア
生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5
平均スコア	2.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア= 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

項目	スコア
建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.1
効率的	3.0
平均スコア	3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

項目	スコア
水資源	3.0
非再生材料の	3.3
汚染物質	3.3
平均スコア	3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

項目	スコア
地球温暖化	3.7
地域環境	3.0
周辺環境	3.1
平均スコア	3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 室内の空気質環境の向上や、エネルギー抑制に配慮した照明を使用するなど、建物内外の環境に配慮した計画とした。		その他 特になし。
Q1 室内環境 内装材にF☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に使用し、室内の空気質環境の向上に努めている。	Q2 サービス性能 品確法「劣化等級」における等級3を取得する躯体材料を計画するなど、建物を長く使える配慮をしている。	Q3 室外環境(敷地内) 外構や屋根に適切に緑地を計画するなどして、敷地内の室外環境を向上させるように配慮している。
LR1 エネルギー LED照明を採用するなどして、エネルギー抑制に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が容易に分別できるように計画するなど、部材の再利用可能性向上に努めている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑制することで、敷地外の環境に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)植田3丁目計画

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.3
LR1	エネルギー	3.3	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.7	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
2. 自然共生				2.3
Q3.1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会				3.2
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.3	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.7	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.3



2. 自然共生

評価点 = 2.3



3. 循環型社会

評価点 = 3.2



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。